TADOKU JUNIOR やさしい名作リーダー ★★★☆☆ ふつう 697語

The Brass Bulls

しんちゅうの牛

E. Louise Smythe（1904年の本） 原文そのまま 朗読：Sarah Jennings、Abby

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ 金の毛皮がほしければ、火をふくしんちゅうの牛で畑をたがやし、りゅうの歯をまけ――王さまのおそろしいめいれいです。こまったイアソンを、王女メデイアが助けて……。

When Jason came to Colchis, he went to the king and said, "Will you give me the golden fleece?"

The king wanted to keep the fleece.

So he said to Jason, "You may have it, but you must do something for me first."

"You must plow with the brass bulls, and plant the dragon's teeth."

The brass bulls looked like real bulls, but they were larger and stronger.

They blew out fire and smoke from their noses and mouths.

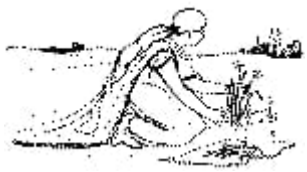
The bulls had a stall made of iron and stone. They had to be tied with strong iron chains.

Medea

When the dragon's teeth were planted, iron men grew up.

They always killed the one who had planted them.

The king wanted the bulls to kill Jason.



He said, "If the bulls do not kill him the iron men will."

The king had a daughter named Medea. She saw Jason was a brave young man and did not want him killed.

She knew how to help him. She stepped into her carriage, which was pulled by flying snakes.

Then Medea flew through the air. She went to hills and creeks and picked all kinds of flowers.

She took the flowers home and cooked them.

Then Medea went to Jason when the king did not know it.

She said to Jason, "Rub your face and hands and legs with this juice."



When he did this, he was as strong as a giant.

Nothing could hurt him then. Fire could not burn him, and swords could not cut him.

The next day Jason had to plow with the brass bulls and plant the dragon's teeth.

Early in the morning, the king and princess went out to the place.

They had good seats where they could see well.

All the people in the city came out to see Jason plow.

The little boys climbed the trees so they could see better.

Then Jason came to the place. The stall where the brass bulls were tied was not far off.

The door was opened and Jason went in.

He untied the bulls and took hold of their horns.

Then he made the bulls come out of their stall.

The bulls were very angry and blew fire and smoke from their mouths.

This made the cruel king glad. But the people who saw it were afraid. They did not want Jason killed. They did not know that the princess had helped him.

Jason pushed the bulls' heads down to the ground. Then they kicked at him with their feet, but could not hurt him.

He held their heads down on the ground until the plow was ready.

Jason took the chains in one hand. He took the handle of the plow in the other.

The bulls jumped and wanted to run away.

But Jason held so hard they had to go very slowly.

When it was noon the ground was all plowed.

Then Jason let the bulls go.

They were so angry that they ran away to the woods.

Now Jason went to the king and said, "Give me the dragon's teeth."

The king gave him his hat full.

Then Jason planted the dragon's teeth, just as a man plants wheat.

By this time he was very tired, so he went to lie down.



In the evening he came back.

The iron men were growing up. Some of the men had only their feet in the ground.

Some of them were in the ground up to their knees.

Some had only their heads out. They all tried to get out so they could kill Jason.

Then Jason did what Medea told him he should do.

He took a giant's marble and threw it near the men.

All the iron men wanted to get the marble.

So they began to fight each other. As soon as one had his feet out of the ground, he cut at the man next to him. So they killed each other.

Then Jason took his sword and cut off all the heads that were out of the ground.

So all the iron men were killed and the king was very angry.

But Medea and the people were glad.

和訳 しんちゅうの牛（The Brass Bulls）

コルキスに着くと、イアソンは王さまのところへ行って言いました。「金の毛皮をいただけませんか？」

王さまは、毛皮を手ばなしたくありませんでした。

そこで王さまはイアソンに言いました。「やってもよい。だが、まずわしのために、やってもらうことがある。」

「しんちゅうの牛で畑をたがやして、りゅうの歯をまくのだ。」

しんちゅうの牛は、本物の牛のように見えましたが、もっと大きくて強いのでした。

鼻と口から、火とけむりをふき出していました。

牛たちは、鉄と石でできた小屋に入れられていました。じょうぶな鉄のくさりで、つないでおかなければなりませんでした。

メデイア

りゅうの歯をまくと、鉄の人間たちが生えてきました。

鉄の人間たちは、いつも自分たちをまいた人をころしてしまうのでした。

王さまは、牛たちがイアソンをころしてくれればいいと思っていました。

王さまは言いました。「牛たちがやらなくても、鉄の人間たちがやってくれるだろう。」

王さまには、メデイアという名前のむすめがいました。メデイアは、イアソンがゆうかんなわか者だとわかって、ころされてほしくないと思いました。

メデイアは、イアソンを助けるほうほうを知っていました。メデイアは、空飛ぶヘビが引く車に乗りこみました。

そしてメデイアは、空を飛んでいきました。おかや小川へ行って、いろいろな花をつみました。

メデイアは花を家に持ち帰って、につめました。

それからメデイアは、王さまにないしょで、イアソンのところへ行きました。

メデイアはイアソンに言いました。「このしるを、顔と手と足にすりこみなさい。」

そのとおりにすると、イアソンはきょ人のように強くなりました。

もう何も、イアソンをきずつけることはできません。火にもやかれず、つるぎにも切られないのです。

次の日、イアソンはしんちゅうの牛で畑をたがやし、りゅうの歯をまかなければなりませんでした。

朝早く、王さまとおひめさまはその場所へ出かけました。

よく見える、いいせきにすわりました。

町じゅうの人たちが、イアソンが畑をたがやすのを見に出てきました。

小さな男の子たちは、もっとよく見えるように、木にのぼりました。

それから、イアソンがやってきました。しんちゅうの牛がつながれている小屋は、すぐ近くにありました。

戸があけられて、イアソンは中へ入りました。

イアソンは牛たちのくさりをほどいて、角をつかみました。

そして、牛たちを小屋から引っぱり出しました。

牛たちはかんかんにおこって、口から火とけむりをふき出しました。

これを見て、ひどい王さまはよろこびました。けれども、見ていた人たちはこわくなりました。イアソンにころされてほしくなかったのです。おひめさまがイアソンを助けたことを、人々は知りませんでした。

イアソンは、牛たちの頭を地面におしつけました。牛たちは足でイアソンをけとばしましたが、イアソンをきずつけることはできませんでした。

イアソンは、すきのしたくができるまで、牛たちの頭を地面におさえつけていました。

イアソンは、かた手でくさりを持ちました。もうかた方の手で、すきのとっ手を持ちました。

牛たちはとびはねて、にげだそうとしました。

でもイアソンがしっかりおさえたので、牛たちはゆっくり歩くしかありませんでした。

お昼になると、畑はすっかりたがやされていました。

そこでイアソンは、牛たちをはなしてやりました。

牛たちはとてもおこっていたので、森へかけていってしまいました。

今度は、イアソンは王さまのところへ行って言いました。「りゅうの歯をください。」

王さまは、ぼうしいっぱいのりゅうの歯をわたしました。

そしてイアソンは、お百しょうさんが小麦をまくように、りゅうの歯をまきました。

このころには、イアソンはすっかりつかれていたので、横になりに行きました。

夕方になって、イアソンはもどってきました。

鉄の人間たちが、生えてきているところでした。足だけが地面にうまっている者もいました。

ひざまで地面にうまっている者もいました。

頭だけ出している者もいました。みんな、イアソンをころそうと、地面から出ようとしていました。

そこでイアソンは、メデイアに教えられたとおりにしました。

きょ人のビー玉を取って、鉄の人間たちの近くに投げたのです。

鉄の人間たちは、みんなそのビー玉をほしがりました。

それで、おたがいにたたかいはじめました。地面から足が出るとすぐに、となりの者に切りかかりました。こうして、鉄の人間たちはおたがいにたおし合いました。

それからイアソンはつるぎを取って、地面から出ている頭をのこらず切り落としました。

こうして鉄の人間たちはみんなたおされて、王さまはかんかんにおこりました。

けれども、メデイアと町の人たちはよろこびました。

たんご と クイズ　しんちゅうの牛

bulls 牛（おすの牛）	**teeth** 歯	**smoke** けむり
chains くさり	**snakes** ヘビ	**flowers** 花
plow すき（畑をたがやす道具）	**marble** ビー玉	

Q1 **しんちゅうの牛は、鼻と口から何をふき出していましたか？**

① 水とあわ　② 火とけむり　③ 雪と風

Q2 **メデイアがイアソンにわたした花のしるには、どんな力がありましたか？**

① 火にもやかれず、つるぎにも切られなくなる　② 空を飛べるようになる　③ すがたが見えなくなる

Q3 **イアソンが投げたビー玉を見て、鉄の人間たちはどうした？**

① ビー玉で遊びはじめた　② 地面にもぐってかくれた　③ ほしがって、おたがいにたたかいはじめた

こたえ

Q1 ②　しんちゅうの牛は本物より大きく強く、鼻と口から火とけむりをふき出していました。

Q2 ①　しるをすりこむとイアソンはきょ人のように強くなり、火にもつるぎにも負けなくなりました。

Q3 ③　鉄の人間たちはみんなビー玉をほしがって、おたがいにたたかいはじめたのです。メデイアのちえですね。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #7841（E. Louise Smythe、1904年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1904 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Sarah Jennings、Abby（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。